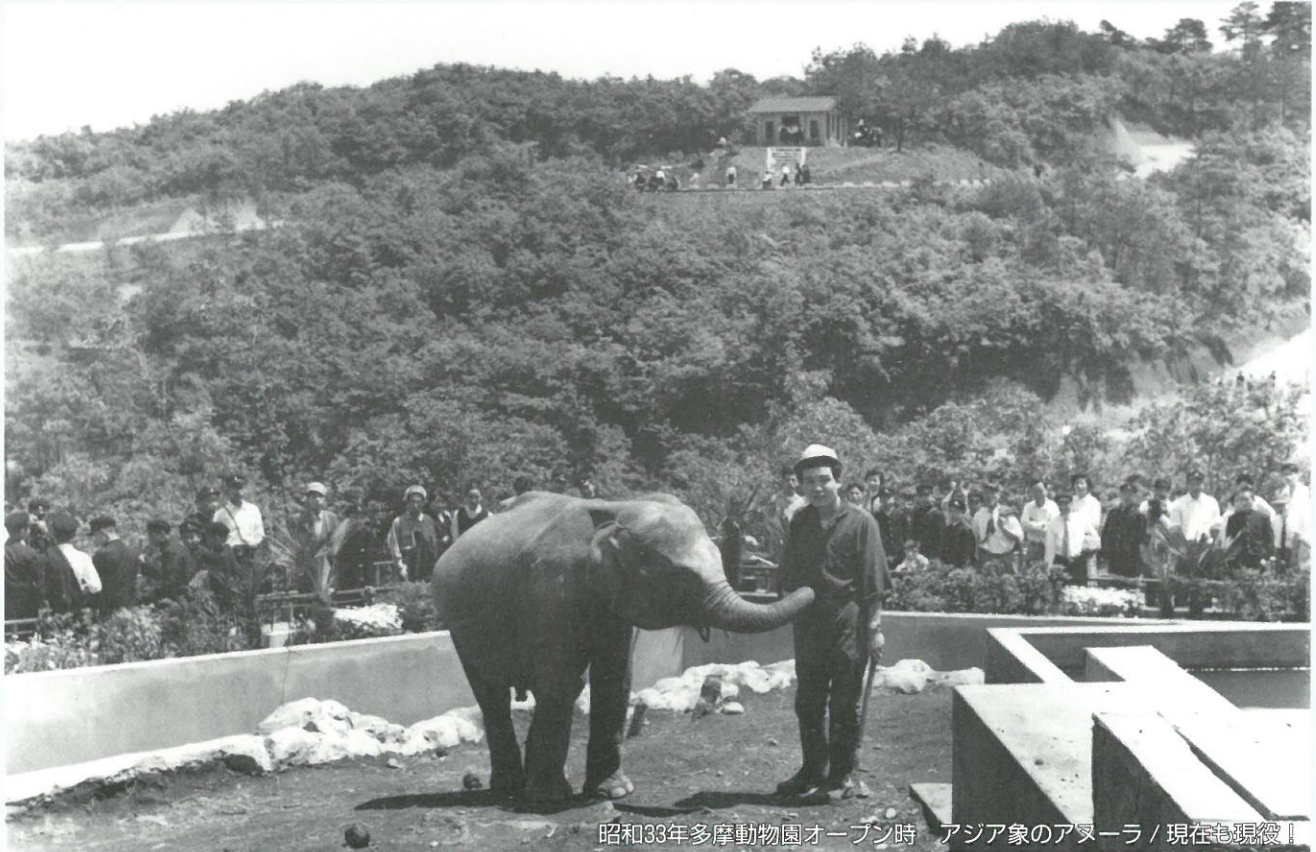


日野市観光協会だより

第4号（平成20年7月発行）

特定非営利活動法人 日野市観光協会
<http://www.shinsenhino.com/>



昭和33年多摩動物園オープン時 アジア象のアヌーラ / 現在も現役！



日野市観光協会50周年を迎えて

特定非営利活動法人日野市観光協会
理事長 川 澄 祐 勝

日野観光協会として発足し、昭和62年に名称変更した日野市観光協会は、お陰様で今年創立50周年を迎えることができました。これ偏に6代の歴代会長を始め多くの協会役員・会員の皆様方のご尽力の賜と心より感謝の意を表する次第でございます。協会が発足した昭和33年は日野町と七生村が合併した記念すべき年で、多摩動物公園開園の年でもございます。

その後昭和38年に市制が施行されましたが、その後から市内観光関連の整備が急速に進みます。多摩テック開園・動物園線開通・百草園梅まつり開催・金剛寺五重塔建立と新東京百景1位入選・2年間に亘る金剛寺の文化財総合調査・あじさいまつり開催・立日橋とふれあい橋の開通・ふるさと歴史館開館・多摩都市モノレールの全線開通・全国水の郷の認定等枚挙に遑ない程です。

観光協会直接間接の事業も伸びゆく日野市写真コンクール・高幡不動尊菊まつり・ひの新選組まつり・日

野市産業まつり・ひのよさこい祭・平山季重まつりなど数多くありますが、昭和63年の市制25周年・日野市観光協会30周年を記念して開催された新選組まつりは後の新選組ブームの魁とも言うべき快挙で、平成10年の市制35周年、土方歳三没後130年祭記念の新選組 in 日野につながりました。

平成16年の大河ドラマ「新選組！」の放映に呼応して日野市と共催した「新選組フェスタ in 日野」は大変好評で全国から30万を越す観光客が詰めかけ、新選組のふるさと日野のすばらしいアピールになりました。

協会は平成17年以降日野宿本陣の管理運営を市から受託し、事務局も本陣内に移して急増する事務に対応していますが、平成18年には東京都から「特定非営利活動法人 日野市観光協会」の正式認可を受け、同年秋にはたかはたもみじ灯路、平成19年には日野の冬を飾るイルミネーションイベントも開催され、新たな発展段階を迎えています。

上述の通り、私共の日野市は東京近郊稀に見る豊かな観光文化資源を抱えておりますが、この度の50周年を機に更なる観光日野の充実を目指して、関係者一同努力することをお誓い申し上げてご挨拶とさせていただきます。



協会の50周年を祝う

日野市長 馬場 弘 融

日野市観光協会が、素晴らしい実績を重ねながら創立50周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。長年にわたる、川澄祐勝理事長はじめ役員ならびに会員各位の日野市へのご貢献に敬意を表します。

50年前といえば、ちょうど旧日野町と七生村が合併した年です。多摩動物公園の開園や多摩平団地への入居も同じ頃でした。田園風景に加え自然豊かであった当時の姿を思い返すところです。

観光協会でも当初は、多摩丘陵の自然から高幡不動や百草園など、いわばナチュラル観光が主体であったと思います。勿論、いわゆる日野五社に関わるインダストリアル観光の活用も考えられていました。しかし伝統的な「高幡不動尊菊まつり」はともかく、観光都市・日野といった認識は、協会にも私たち行政にもやや欠けていたのではないかと思います。

状況を変えたのは、お不動様の大日堂落慶にちなみ実施された「新選組パレード」です。この成功を下敷きに、昭和63年、協会30周年の記念事業「新選組まつり」が生まれました。そして極め付きは、平成16年のNHK大河ドラマに合わせ開かれた「新選組フェスタ in 日野」。協会の力強いご支援を受け、市民職員の協働による実行委員会が10ヶ月にわたり開催し、全国に「新選組のふるさと日野」をPRすることが出来ました。こうして、観光＝まちの光を見せる事業が、市民にも職員にも定着するようになったと思います。

その後も、日野宿本陣の運営やキャラクターグッズの販売から「よさこい祭り」まで、幅広くご支援いただいています。最近では、NPO法人として「高幡もみじ灯路」など新しい企画にも取り組んでいただき、市としても心強い限りです。これからも、わがまち日野をさらに美しく魅力あるまちに創りあげるためご支援いただきたいと思います。

むすびに、次なる百周年に向けて、日野市観光協会のさらなる発展をご祈念申し上げ祝辞といたします。

日野市観光協会 歴代会長・理事長 (敬称略)



初代
古谷 太郎



第2代
秋山 祐雅



第3代
谷井 潤三



第4代
馬場 弘融



第5代
川嶋 博



第6代
大木 茂



第7代
川澄 祐勝

観光協会50年のあゆみ

- 1958／昭和33年 ●日野町・七生村合併。日野観光協会発足。
 ●都立多摩動物公園開園。（開園日は25万人の来園者があり、長い人の列が高幡不動駅まで続きました）



多摩動物公園テープカットの様子



開園当時の多摩動物公園アジア園のアジアゾウ舎



昭和30年頃の高幡不動駅



昭和30年頃の新井・万願寺・石田周辺 食彩工房「土間」所蔵

- 1961／昭和36年 ●一般からの公募により、作詞は森寿美子氏が選ばれ、作曲 遠藤 実氏、補作 石本美由起氏によって『日野音頭』が作られた。
 ●多摩テック開園。



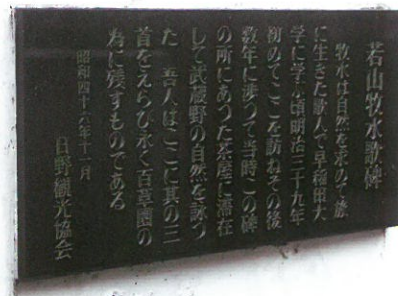
多摩テックは、ホンダの「全国各地にモータースポーツ施設をつくり、実用車としてのバイクを通じてレジャースポーツを提唱する」という壮大な事業構想のもとに、バイクが自由に走れる広場「オートゲレンデ」として開園し、翌1962年には、家族みんなで楽しめる科学する自動車遊園地として人気を博しました。これが現在の「ゆうえんちモトピア」につながっています。
 (写真 開園当時の多摩テック)

- 1963／昭和38年 ●市政が施行され「日野市」となる。
 1964／昭和39年 ●京王線多摩動物公園線（今の動物園線）が開通。
 1966／昭和41年 ●第1回伸びゆく日野市写真コンクールを実施。
 1967／昭和42年 ●中央自動車道、調布、八王子間開通。
 1970／昭和45年 ●第1回高幡不動尊菊まつり開催。（今年38回を迎える菊まつりですが、多摩地域14市で構成されたおまつりとして始まりました。）

1971／昭和46年 ●日野観光協会によって、京王百草園に若山牧水の歌碑を建立。



京王百草園・若山牧水歌碑



日野観光協会・若山牧水歌碑建立の記念碑

1980／昭和55年 ●高幡不動尊五重塔が建立。

1981／昭和56年 ●高幡不動尊が新東京都観光百景に選出。



新東京都百景と日本観光地百選(昭和25年)の碑



建立当時の高幡不動尊五重塔

1984／昭和59年 ●多摩動物公園コアラ公開（コアラ人気で連日1万5千人のお客様で混雑しました。）

1987／昭和62年 ●臨時総会にて、日野観光協会から「日野市観光協会」に名称を変更。

1988／昭和63年 ●市政25周年、観光協会30周年記念事業として、「新選組まつり」を実施。



高幡不動尊にて法楽

- 日野市観光協会として会津まつりに参加。



会津まつり・日野市観光協会参加者集合写真



パレード参加の様子

- 1989／平成元年 ●立日橋開通。
- ふるさと博物館開館。
- 1991／平成3年 ●万願寺歩道橋（ふれあい橋）開通。
- 1994／平成6年 ●高幡不動尊金剛寺の木造不動明王像・二童子像・不動明王像内文書が国指定重要文化財に指定。
- 1995／平成7年 ●国土庁により日野市が「水の郷」に選出。
- 1997／平成9年 ●多摩テック（ゆうえんちモートピア）に隣接した地下1,600mの掘削で、ナトリウム塩化物温泉が湧出し、「天然温泉 クア・ガーデン」がオープン。
- 1998／平成10年 ●市制35周年と土方歳三没後130年を記念して「新選組 in 日野」を実施。
- 市政35周年の記念事業としてコスモスアベニューを実施。



新選組 in 日野 五重塔の前で集合写真



ふれあい橋とコスモス

- 多摩都市モノレール(立川北～上北台)が開通。(多摩地域の公共交通が便利になる。)
- 2000／平成12年 ●多摩都市モノレール全線開通に伴い、イベント事業を実施。タイムカプセルを設置。



モノレール開通記念イベントでの集合写真



立日橋と多摩都市モノレール

2004／平成16年 ●NHK大河ドラマ「新選組！」が放映。

- 「新選組フェスタ in 日野」を開催。
(市内4か所に観光案内所を設置。
ドラマの影響で、のべ約30万人の
来場者があった。)



フェスタ会場内の様々な展示館

2005／平成17年 ●日野宿本陣管理運営を受託、事務局を本陣裏に移設。



日野宿本陣開館のテープカット

- 平山季重すえしげフェスタ開催。
- 新選組のふるさと歴史館開館。



平山季重フェスタ開催ポスター

2006／平成18年 ●3/28東京都より「特定非営利活動法人 日野市観光協会」を認可。



特定非営利活動法人設立記念式典



設立記念祝賀会の様子

- たかはたもみじ灯路開催。



灯籠の幻想的な光景



日野バイパス開通式テープカット

2007／平成19年 ●日野バイパス全線開通。
●日野の冬イベント「イルミネーション」開催。

定期総会並びに創立50周年祝賀会を開催



平成20年度の定期総会が5月29日(木)高幡不動尊信徒会館において開催されました。

当日は、市の関係者をはじめ会員156名(委任状を含む)が出席し、川澄理事長の挨拶の後、本総会成立の報告があり、議長に谷井副理事長を選出して議案の審議に入りました。19年度事業報告、決算報告、監査報告に続き、20年度事業計画案、



予算案が提出され満場一致で承認可決され、総会とはどこおりなく終了しました。

終了後会場を移し、観光協会創立50周年の祝賀をかねた懇親会を開催し、市長、議長、歴代会長をはじめ、多数の来賓の方々にご臨席を賜り、市川監事の乾杯で盛大に行いました。(総務部)

第3回平山季重まつり開催

900年ほど前に源平合戦で活躍した武蔵武士、平山季重の出身地・平山地区において、その歴史と文化に光をあてる地域振興として始まった平山季重まつりも今年で3回目となりました。

ちょうど桜咲く晴天のなか、開会式では馬場市長、川澄理事長のご挨拶をいただき、2日間のお祭りが開催されました。京王線平山城址公園駅近くのメイン会場では、ミニSLの運行や体験牧場、足湯(天然温泉)などが人気を集め、またステージでは、地元の方々参加の出し物を中心に、太鼓やカラオケ大会、手品などが楽しく行われました。

4月5日には、平山城址公園前の「平山季重ふれあい館」がオープンし、平山季重関連のパネル展示や講演会などが催されました。また、周辺では七生丘陵のウォーキングや京王資料館の特別開館なども行われました。(まつり推進部)



第11回ひの新選組まつり開催



今年で11回目を迎えた、市内最大級のイベント「ひの新選組まつり」が、5月10日(土)、11日(日)に開催され、大勢の人出で賑わいました。

初日は雨まじりの天候でしたが、中央公園メイン会場にて、川澄理事長、馬場市長のご挨拶で始まり、歌と踊りのショーや大道芸などの催しがありました。毎年恒例の隊士コンテストは、参加者の熱演で大盛り上がりとなり、今年のミスター土方は市内在住の青木哲男さんが選ばれました。

日曜日のパレードは、あいにくの雨で午前の高幡地区は中止になりましたが、午後の日野地区では、全国から参加された新選組ファンや『新選組ゆかりの地』からいらした方々、市内企業や子どもたちの参加で430名を超える盛大なパレードとなりました。隊士たちのパフォーマンスや少年剣士たちの演武には、観客の皆さんからおしめない拍手がおくられていました。(まつり推進部)

今後の観光協会の行事等

第8回ひのよさこい祭

7/26(土)・27(日)

会場：26日(土) 日野中央公園・高幡不動参道通り

27日(日) 日野駅周辺・豊田駅北口周辺

市内外から今年も沢山のチームが参加されます。参加チームの熱演を見に、会場に足を運んでみてはいかがでしょうか？フィナーレの総踊りでは、1000人以上の「踊り子」で多摩平商店街が埋め尽くされます。

詳細は <http://www.hino-yosakoi.net/>

第38回高幡不動尊菊まつり

10/28(火)～11/17(月)

今年で38回目を迎える高幡不動尊菊まつり。市の花として親しまれている菊ですが、期間中は約1500鉢の大小様々な競技花で境内に華やかな雰囲気を出します。毎年、遠方より楽しみにいらっしやるお客様も多いとか。

日野市産業まつり

11/8(土)・9(日)

産業まつりの会場で、観光協会は中央公園で日野の観光PR・スーパーボールすくいなどを、道路では民謡流しを行います。

会津まつり会員研修旅行

9/22～23(1泊2日)

23日に行われる会津まつりの式典に出席し、パレードの様子を見学します。有名な会津まつりを研修する良い機会です。7月下旬頃に詳細をご案内致します。沢山の皆様のお申し込みをお待ちしております。

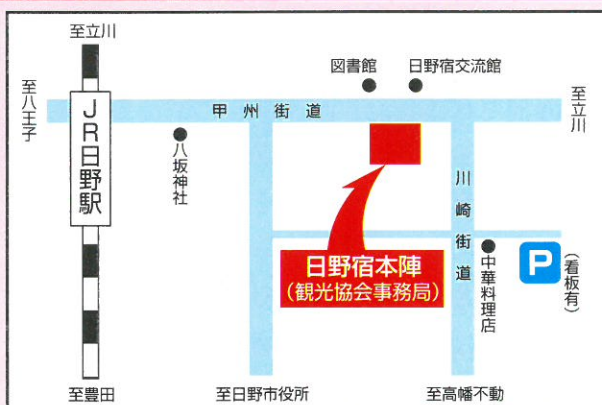
第3回たかはたもみじ灯路

11/22(土)・23(日)

今年で第3回目をむかえる、「たかはたもみじ灯路」。昨年は天候にも恵まれ、2日間でのべ3万5千人のお客様にお越しいただきました。晩秋の夜の幻想的な雰囲気を楽しんで下さい。

事務局だより

- 本陣に七夕飾り(6/14～7/6)を展示し、読売新聞に掲載されました。
- ～新選組隊服レンタルを開始しました。お客様より、問い合わせ・予約を好評受付中です。(第1・3日曜日)
- TV朝日「ちい散歩」(7/8放映)をご覧になったお客様で本陣の来館が増えています。



特定非営利活動法人日野市観光協会 事務局

8:30AM～5:15PM(月曜定休)

〒191-0011 東京都日野市日野本町 2-15-9
TEL(042)586-8808 FAX(042)586-8961
E-mail info@shinsenhino.com

会員募集

特定非営利活動法人日野市観光協会では会員を募集しています。日野市の観光や新選組、その他のイベント等に興味のある方の入会をお待ちしています。詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。

編集後記

“50周年のあゆみ”の観光だより記念号を発刊するにあたり、広報部員、事務局員に50年間の記録の収集と資料収集に大変お世話になり感謝いたします。私は先日、1872年米国最初の国定公園に指定されたイエローストンを訪問してきました。公園内であたかもディズニーランドの模造動物のような白頭鷲、バッファロー、エルクが身近に迎えてくれ、まさに自然と共生の100年の歴史を観光資源としている様を実感してきました。当協会が50年を経過し、さまざまな記録・資料を拜見し、この50年の歴史の財産と今後の日野の観光資源の財産が“100周年のあゆみ”の礎になる事を期待したいと思います。(武井)